

# 令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第九小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・探究的な学習を通して、まちを大切にしようとする思いやコミュニケーション能力を高めることができた。 ・活動を通して、地域のよさに気付き、地域への愛着が深まった。
立川市民科の取組の課題	・1、2年生を「砂川楽」、3～6年生を「砂川学」として地域との関連をより一層図りながら、指導計画を再編する。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
53.3%	34.4%	5.6%	1.4%	5.3%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
40.0%	47.0%	2.7%	0.5%	9.7%